

限りある水資源

今私のまわりには当たり前のようには水がありません。しかし、同じ地球の中で身近に水が利用できる人達がいる現状を知り、驚きました。その問題を悪化させているのは先進国の私達です。そんな責任のある立場にいる上で、水問題について考えるべきだと思います、このテーマを選びました。

私達が抱える水問題は、大きく分けて四つあります。一つ目は、世界全体の問題である水不足です。現在、日本では生活で大量の水を必要とし、地域的な渇水が起こっています。私達が飲める水は地球全体の0・0一%にも満たず、「水の惑星」と呼ばれる地球のほとんどは海水です。普段なにげなく使っている水も、大切な資源なのだと気付かされました。では、なぜ水不足が進んだのか。それは先

生駒市立上中学校 二年

梶原 愛未

進国での水の大量消費が原因です。街よく見る噴水も水を大量消費している一例だと思います。ある資料では、このまま使用量が増加すると、二〇二五年には世界人口の三分の二が水不足になると予測されています。そうならない為にも、私達一人一人が水の使い方や大切さを見直し、水資源を守る行動が必要だと思います。

二つ目は、干ばつです。アメリカ中部の平原地帯では、一年おきに干ばつに見舞われ、農作物の栽培に打撃を与え、世界中の貧困問題にも影響を与えています。アメリカだけでなく、世界の様々な地域でも大規模な干ばつがおきています。

干ばつが起きる原因として、温暖化による気温上昇に伴い、水の蒸発量が増加し、土地の水分が減少することが挙げられます。三つ目は干ばつとは逆に洪水です。世界中

で洪水による災害が頻繁に発生し、多くの被害が出ています。例えば、日本では昨年の西日本豪雨で岡山・広島が洪水に。また、インドネシアでも大規模な洪水が起きました。洪水が起こる主な原因として、温暖化により地域的に水蒸気が多量発生し、密度の濃い雲による豪雨をもたらす事が挙げられます。海水温が上昇するエルニーニョ現象による集中豪雨が引き起こす洪水もあります。四つ目は海面上昇です。この問題は私もよく知っています。ツバルやキリギス島など海抜が低い国では、海水面が上昇し続けると、島全体が沈んでしまふと予測されています。海面上昇も温暖化によるもので、氷河などの氷の融解割合の増大を来たして、海水面が上昇していくことが原因です。大きな高潮が襲来したりと、多くの影響が出ています。干ばつ・洪水・海面上昇、いずれも環境破壊による地球温暖化がおもとの原因です。私達が環境破壊をすることで、水資源にも大きな影響を与えることが分かりました。これまでの事例を解消するために私達に出来ることは何か。一つ目は温暖化を進めない

ことだと思えます。まず自動車から出される排気ガスを減らすため、なるべく公共交通機関を使うこと、そして森林を保護すること。森林は二酸化炭素を減らすだけではなく、水を蓄える力も持っています。また、紙などをリサイクルすることで温暖化が進むのを抑え、少しでも水問題による被害を減らすことができると思えます。二つ目は、「水は限りのあるもの」であることの意識を持ち、節約して使うことです。少しでも多く次の世代に水を残すことができる様、行動するべきです。今回、水問題について調べるうちに、地球の環境問題がかなり深刻で、次の世代はもちろん、私達が大人になる頃は、現在の様な便利な生活は行えなくなるのではと、怖くなりました。我々全員が環境問題を「自分に関わる事」と捉え、真剣に取り組むべきだと感じました。今日から資源をより大切に生活していきたいです。